

## 【南関町】 1人1台端末の利活用に係る計画

### 1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

令和3年1月に中央教育審議会から出された「『令和の日本型学校教育』の構築を目指して～全ての子供たちの可能性を引き出す、個別最適な学びと、協働的な学びの実現～（答申）」では、これからの「個別最適な学び」「協働的な学び」の充実のために、ICTの活用は必要不可欠であると述べられており、各学校に整備した1人1台タブレット端末の学習における利活用を進める事が重要となっている。

本町では、1人1台タブレット端末の学習時における活用推進に重点を置き、学習時に使用するデジタルノート上の学習教材を作成・配布し、活用機会を増やすように努めてきた。現在では、小学校算数・中学校英語の全時間分及び国・社の一部で提供してきた。

その結果、学習時におけるタブレット端末利活用が一般化してきている。併せて、各学校の校内研究等に資質・能力の育成を目指す子どもが主役の授業改革と、その実現のためのタブレット端末活用を位置づけるよう指導し、取組の推進を求めている。

これにより、変化が激しい予測困難な時代を生きていく子供たちにとって必要不可欠な「主体性や協働性・情報活用能力などの資質能力を育成するための学びを更に推進することを目指す。

「不登校対策」・「働き方改革」に向けたICTの利活用を併せて進めている。

### 2. GIGA第1期（～令和5年度まで）の総括

GIGA端末の整備と通信ネットワークの整備より情報活用推進体制が整った。

ただ、全校児童・生徒がネットワークを利用した際の通信の負荷に対応できる帯域の確保や通信機器の不具合等も踏まえ、定期的なネットワークの点検の必要性を感じている。

また、現場で発生した簡易的な不具合を基にしたトラブル対応マニュアルを作成し、現場との共有を図った。

### 3. 1人1台端末の利活用方策

本町では、令和8年度に対象校5校の端末更新を計画しており、更新にあたり各学校及び関係課が情報共有を図りながら、更新作業を進めていく予定である。さらに、適切なネットワークアセスメントを行うことで、児童生徒にとってさらに充実した1人1台端末の環境を維持していくことを目指す。

これらのICT環境の充実を前提として、1人1台端末の効果的な利活用推進に向けて、次の3つの視点から目標達成に向けての取組を行う。

#### (1) 1人1台端末を積極的に活用するために

対象校では、ICT支援員が企画した研修会等を通じて、より多くの教職員に対して効果的な端末の利活用についてのスキルを身につけさせ、授業での利活用を積極的に行っていただくことを目指す。

#### (2) 個別最適・協働的な学びの充実を図るために

児童・生徒が「自分で調べる場面」「自分で考えをまとめ発表する場面」「児童生徒同士や教員とやりとりする場面」において、積極的に1人1台端末を活用することができるように、ICT教育スキルアップ研修等において、具体的な活用事例の情報共有を図っていく。

#### (3) 全ての児童生徒の学びを保障するために

不登校の児童生徒、日本語指導が必要な児童生徒及び障がいのある児童生徒等に対して、1人1台端末を活用することで、学びの幅を広げ、様々な状況の児童生徒の学習機会を確保する。